

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小海線沿線地域の魅力を世界に発信事業
事業主体 (連絡先)	小海線沿線地域活性化協議会 (北杜市役所 観光課 <a href="tel:0551-42-1351">TEL:0551-42-1351</a> )
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,364,450 円 (うち支援金: 1,831,000 円)

### 事業内容

#### 1. 小海線ファンサイトの多言語化

##### 【実施時期】

令和元年7月1日～令和2年2月13日

##### 【内容】

本協議会で運営する Web サイトを英語、繁体字、簡体字の3つの言語に翻訳した。

これまで、本協議会では、訪日外国人への情報発信などを行う体制が整っていなかったが、本事業により発信するコンテンツを持つことが出来た。

沿線地域の近隣には軽井沢等の訪日外国人観光客が多い地域があり、小海線沿線地域の活性化を目指すうえで、それらの地域から観光客を誘引することは非常に重要な課題である。

本事業により外国人観光客が小海線沿線地域を知るための環境整備の第一歩を踏み出すことが出来た。

#### 2. 本当は教えたくない！小海線ビューポイント発掘

##### 【実施時期】

令和元年6月17日～3月13日

##### 【内容】

昨年実施したフォトコンテストでは春と冬の作品を募集することが出来なかったため、本年は通年を通して作品を募集した。

フォトコンテストにはインスタグラムを利用し、募集チラシ、ポスター、新聞広告等で告知を行った他、受賞作品選定後には作品を掲載したポスターを沿線自治体ならびに JR 小海線駅構内等にて掲示した。

応募作品は1,000点を超え、小海線の持つ魅力や四季折々の景色、沿線地域の営みを映した様々な作品が集まった。

本事業で応募いただいた作品は、今後の小海線沿線地域の広告の材料として使用していく。



【Web サイト多言語】



【募集チラシ】



HIGHRAIL1375 賞  
受賞作品

## 事業効果

### 1. 小海線ファンサイトの多言語化

全国的にみても外国人観光客が増えている中で、今回の事業により、これまで本協議会では整備が追いついていなかったインバウンドへの対応に着手することが出来た。

現在、サイトへの外国人のアクセス数を計測しているが、公開してすぐの現状では数値に伸びは見えていない。しかし、今後は外国人に向けてもPRを積極的に行うことが出来るという体制を取れたことは大きな成果だといえる。

### 2. 本当は教えたくない！小海線ビューポイント発掘

今年のフォトコンテストでは、通年で作品を募集したため、四季折々の作品を集めることが出来た。応募総数は1,000件を超え、小海線を中心に沿線地域の営みなども捉えた作品を得ることが出来た。

現在、平成30年度に作成した小海線のパンフレットに撮影スポットを掲載しているが、今回の作品についても次年度にパンフレットを増刷する際に掲載する。

## 【目標・ねらい】

- ①小海線の認知度向上
- ②県内外に向けた魅力の発信
- ③沿線地域の観光誘客
- ④インバウンド対策の推進

## ※自己評価【 B 】

### 【理由】

実施期間を若干延長することとなってしまうが、計画していた事業はすべて完了し、当初の目的通りの成果物を得ることが出来た。

フォトコンテストでは1,000点を超える応募があり、四季折々の小海線の魅力が詰まった作品を集めることが出来ている。

多言語化事業ではこれまで力を入れることが出来ていなかったインバウンド対応を進めることが出来、今後のインバウンド対策に繋がる環境を整備できた。

## 今後の取り組み

今年度の事業において、Webサイトの多言語化では海外向けの情報を発信する体制を整えることが出来た。

また、フォトコンテストでは通年を通じた作品を募集出来たことで、昨年は得ることが出来なかった四季折々の景色を含んだ作品が手に入ったことから、今後のPRの素材としての活躍が期待できる。

次年度以降は主にこれらを活かすPRへとつなげることを考えるとともに、より沿線地域の魅力を発信できるように磨きをかける事業を実施する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある